

# 9 略案

## 海の命 略案 (1 / 5)

教師の動き・指示	留意事項	時間
①単元の課題を示す。 登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう。		1分
②本時のめあてを板書する。 「海の命」を音読して感想をまとめ、学習の計画を立てよう。		3分
③タイトルから想像できる物語の概要を想像する。	魚の命 生き物が死んでしまう話など	1分
④山場の説明。 ・山場は行間にあること ・人物の気持ちが、がらっと変わるところ	中心となる人物の見方・考え方や人物の関係が大きく変わるところを山場という。 (物語が盛り上がる場所と簡単に説明)	3分
⑤太一の考え方を簡単に押さえる。	『太一は瀬の主を殺そうと考えている』	1分
⑥場面分けをしながら教師が範読をする。その後、山場を考えながら、立って全文音読する。終わった児童は座って再度音読させる。	2回目は全員読み終わらなくても切り上げる。	20分
⑦この物語の山場を話し合う。	～太一は泣きそうになりながら思う。 (山場) 水の中でふっとほほえみ～	2分
⑧なぜ殺さなかったのかについて、自分の考えを書く。		4分
⑨考えを発表する。	登場人物の関係を捉えて考えていないはず。そこで主題に戻る	4分
⑩何に気をつけて読めばよいか考える。学習計画を立てる。(プリント)	主題にあるように、登場人物との関係を捉えて山場を読み取ることを押さえ、学習計画を考える	5分
⑪感想		1分

感想	<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>5</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海はどのようにな生き方をしただろうか</td> <td>母はどのようにな生き方をしただろうか</td> <td>父と与吉じいさほどのようにな生き方をしただろうか</td> <td>海を音読して感想をまとめ、学習の計画を立てよう</td> <td>海を音読して感想をまとめ、学習の計画を立てよう</td> <td>時</td> </tr> </tbody> </table>	5	4	3	2	1	時	海はどのようにな生き方をしただろうか	母はどのようにな生き方をしただろうか	父と与吉じいさほどのようにな生き方をしただろうか	海を音読して感想をまとめ、学習の計画を立てよう	海を音読して感想をまとめ、学習の計画を立てよう	時	学習計画	<p>○なぜ殺さなかったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おとうだと思っただから</li> <li>・大魚は海の命だと思っただから</li> </ul> <p>山場：行間にある。</p> <p>気持ちや考え方ががらっと変わる</p>
5	4	3	2	1	時										
海はどのようにな生き方をしただろうか	母はどのようにな生き方をしただろうか	父と与吉じいさほどのようにな生き方をしただろうか	海を音読して感想をまとめ、学習の計画を立てよう	海を音読して感想をまとめ、学習の計画を立てよう	時										
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて</p> <p>○月○日</p> <p>海の命</p> <p>海の命を音読して感想をまとめ、学習の計画を立てよう。</p> </div>												

海の命 略案 (2 / 5)

配本/グレード	教師の動き・指示	留意事項 ☆必要感	時間
つかむ	①前時の復習をする。	☆山場を読み取るために、人物の生き方を読み取っていき、自分たちで決めたことを確認する。 学習計画を確認する。	5分
	②本時の課題を板書する。 父と与吉じいさはどのような考え方で生きたのだろう		
考える	③第1～3場面を範読する。	一文まとめを板書し、ゴールを明確にする。 台詞に気を付けて、父、与吉じいさの考え方や生き方が分かる文章に、それぞれ一線と～線を引く。 叙述に沿って、箇条書きでまとめる。 (○○と書かれているから△△だと思う。) すぐに書きだせない児童には、台詞の部分再度黙読させてから考えさせる。	5分 12分
	④父・与吉じいさの考え方、生き方を個人でまとめる。 【発問例】 ・海を大切にす、海に感謝するとはどういうことなのか。→海に生かされている。 ・なぜ千匹に一匹しかとらないのか。→海の命が守られ、海と生きられる。 ・ずっとこの海で生きていられるとはどういう意味か。→海の命が守られ、海と生きられる。 ・海のめぐみとは何なのか。		◇登場人物の会話や行動から、その人物の考えや生き方を捉えている。 A「海のめぐみ」「千匹に一匹」のキーワードから、父や与吉じいさは「海に生かされている」「海とともに生きている」ことを読み取っている。 B「海のめぐみ」「千匹に一匹」のキーワードから、父や与吉じいさの考え方や生き方を捉えているが、「海に生かされている」「海とともに生きている」ことまでは読み取れていない。 →「海のめぐみ」「千匹に一匹」のキーワードの意味を考えさせる C性格を書いている。考えが書けない。 →性格ではなく、生き方や考え方の視点をもたせる。 →会話文に着目させ、「海のめぐみ」「千匹に一匹」のキーワードをノートに書かせる。
深める	⑤グループで交流する。	【交流の流れ】 1. 順番に発表する。 2. 叙述に沿って、意見を交流する。 3. グループの答えをまとめる。 父にとっての瀬の主は海のめぐみであることも押さえておく	8分 5分
	⑥グループごとの意見を全体で交流する。		
まとめる	⑦一文まとめをする。	父や与吉じいさは○○○考え方で生きた。 ☆その生き方・考え方を見て、太一は成長していくことまで押さえる。 まとめたことが表現できるような朗読となるように助言する。 ☆主題を踏まえ、第四時の読み取りをするために、次は誰の生き方を考えればよかったのかを押さえる。	4分 5分 1分
	⑧振り返りの音読をする。		
	⑨次時の予告		

〇月〇日 海の命 課題	父と与吉じいさは、どのような考え方で生きたのだろうか 父― 与吉じいさく ○父(※) ・(じまんすることもなく) けんきな考え方 ・(海のめぐみ) 海を大切にしたいと考えている ☆父にとっての瀬の主は海のめぐみ ○与吉じいさ ・(もう魚を自然に遊ばせてやりたい) 魚・自然を大切にする考え方 ・(独り言のように語ってくれた) 自分の考えを押しつけない考え方 ・(千びきに一びき…) 必要以上に魚を捕らない考え方 海のめぐみ 千びきに一びき ← 海に感謝 海とともに生きる	まとめ 父や与吉じいさは、( ) 考え方で生きた。( )
-------------------	---	------------------------------------

(※) 父は、「大物をしとめたいという考え方」が出る可能性がある。しかし、二メートルもの大物をしとめてもじまんしていないこと、海のめぐみという考え方をもっていることから、命を落としてまで大物に挑んだというより、海のめぐみとしてクエをとろうとしたが失敗して亡くなったと導く。

海の命 略案 (3 / 5)

教員の手帳	教師の動き・指示	留意事項 ☆必要感	時間
つかむ	①前時の復習をする。 ②本時の課題を板書する。 太一が母の悲しみを背負ってまで、父の海に飛び込んだのはなぜだろう	☆山場を読み取るために、人物の生き方を読み取っていくと、自分たちで決めたことを確認する。 学習計画を確認する。 一文まとめを板書し、ゴールを明確にする。	4分
考える	③母の悲しみの理由を共有する。 ④第1～4場面を範読する。 ⑤なぜ太一は母の悲しみを背負ってまで父の仇を討とうとしたのか、個人で考える。 ヒントとなる叙述 ・第1場面：おとうと一緒に海に出るといってはばからなかった。 ・第2場面：父の瀬で一本釣りをしている与吉じいさに無理矢理弟子入りした。 ・第4場面：とうとう父の海にやってきた。	太一が瀬の主にならなくなってしまうかもしれないということ。 父の仇を討とうとすることがわかる文章に一線を引く。 叙述に沿って、箇条書きでまとめる。 (〇〇と書かれているから△△だと思う。) ◇会話文や地の文から、登場人物どうしの関係を捉えている。 A 第1～第4場面の会話文や地の文から、父の仇を討つために、海に飛び込んだことが読み取れている。 B 会話文や地の文から、父の仇を討つために海に飛び込んだことが読み取れている。 →根拠となる部分を第1～第4場面から見つける。 C 父の仇を討つために、父の海に飛び込んだことはわかるが、会話文や地の文から読み取れていない。考えが書けない。 →第四場面だけに限らず、根拠となる文章を見つけるように助言する。 →前時までのポイントを想起させて考えさせる。	1分 5分 10分
深める	⑥グループで交流する。 ⑦グループごとの意見を全体で交流する。	【交流の流れ】 1. 順番に発表する。 2. 叙述に沿って、意見を交流する。 3. グループの答えをまとめる。 太一にとっての瀬の主は父の仇であることを押さえておく	8分 6分
まとめる	⑧一文まとめをする。 ⑨振り返りの音読をする。 ⑩次時の予告	太一は、母の悲しみを背負ってまで〇〇〇から父の海に飛び込んだまとめたことが表現できるような朗読となるように助言する。 ☆次はいよいよ山場の読み取りである。登場人物との関わりから太一の心情の変化を読み取っていくことを予告する。	3分 6分 2分

太一は、母の悲しみを背負ってまで（ ）から父の海に飛び込んだ

○母の悲しみ  
かたきを討とうとして、命を落としてしまうこと。

○なぜ太一は母の悲しみを背負ってまで父のかたきを討とうとしたのか

- ・ おとうと一緒に海に出たかった
- ・ 父の瀬を知る与吉じいさに弟子入り
- ・ どうとう父の海にやってきた

☆太一にとって瀬の主は父の仇

課題  
 海の命  
 ○月○日  
 太一が母の悲しみを背負ってまで、父の海に飛び込んだのはなぜだろう

海の命 略案 (4 / 5)

配本スタンダード	教師の動き・指示	留意事項 ☆必要感	時間
つかむ	①前時の復習をする。 ②本時の課題を板書する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         太一が瀬の主を殺さなかったのはなぜだろう                     </div>	☆いよいよ第1時に確認した山場の場面である。これまで学習した人物との関わりを通して、太一的心情を読み取ることができるように声かけをする。	5分
考える	③第5場面を音読する。 ④太一の心の迷いを全体で確認する。 ⑤太一が何に迷って瀬の主を殺さなかったのか個人で考える。	瀬の主を殺すか殺さないかを迷っていることを押さえる。 叙述に沿って、箇条書きでまとめる。(〇〇と書かれているから△△だと思う。) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         ◇登場人物の相互関係を捉えながら、瀬の主に対峙したときの太一的心情を捉えている。                          A これまで登場した人物との相互関係を捉えながら、瀬の主に対峙したときの太一的心情を捉えている。                          B 登場人物の相互関係を捉えながら、瀬の主に対峙したときの太一的心情を捉えている。                          →父や与吉じいさから学んだこと、母の悲しみを背負うこと、本当の一人前の漁師と村一番の漁師の違いなど、さらに読みが深くなるように助言する。                          C 考えが書けない。                          →ノートや板書、掲示物で前時までのポイントを想起させて考えさせる。                     </div>	3分 3分 10分
深める	⑥グループで交流する。 ⑦グループごとの意見を全体で交流する。	考えを深めたり、修正したりできるような補助発問をする。 瀬の主を殺さなかったことで父や与吉の考え方や生き方を理解し、海の命の本当の意味を知ることができたところまでまとめる	8分 7分
まとめる	⑧一文まとめをする。 ⑨振り返りの音読をする。(第1時と比較) ⑩次時の予告	クエを殺さなかったのは、〇〇〇〇から。 ☆太一と登場人物の関係を第3時まで学習してきたことで、主題である登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合うことができた事を押さえる。 学習を生かして朗読させる。 ☆次時はこの物語が6年生のみなさんに伝えたいことは何だったのか考えて、海の命の学習を終えることを予告する。	5分 3分 1分

○月○日

海の命

課題

太一が瀬の主を殺さなかったのは、  
( ) から。

水の中で、ふっとほほえむ

葛藤

太一は何を迷っていたのだろう  
 太一が瀬の主を殺さなかったのはなぜだろう

父のかたきをうちたい  
 ・一人前の漁師になりたい  
 (どんな魚でも捕れる)

海めぐみという父の考え方  
 ・どちらがうではないか  
 ・千びきに一びきという与吉の考えと違うのではないか  
 ・本当の一人前の漁師とは、この魚を殺すことなのか

瀬の主から学んだ ↓ おとうと思えた  
 「おとう、ここにおられたのですか」  
 大魚は海の命

まとめ

海の命 略案 (5 / 5)

記本ノリガード	教師の動き・指示	留意事項 ☆必要感	時間
つかむ	①前時（山場）の復習をする。	☆自分たちの計画した読みを通して、 登場人物の関わりをとらえ、人物の生き方について話し合うことができたことを押さえる	5分
	②本時のめあてを板書する。		
この物語があなたに伝えたかったことをまとめ、交流しよう			
考える	③自分の考えをノートにまとめる。	この物語と自分を重ねながら考えるようにさせる。 人に支えてもらいながらここまで成長してきたことや、自他の命の意味や価値について考えさせる。	15分
深める	④グループで交流する。	考えを聞いた感想を友達のノートに書いてあげるようにさせる。（1行程度）	10分
	⑤交流したことをもとに感想を発表する。	◇交流により、考えを広げたり深めたりしている。 A 登場人物との関わりから成長した太一と自分を重ねながら友達と交流し、考えを加筆・修正し、広げたり深めたりしている。 B 友達と交流し、考えを加筆・修正し、広げたり深めたりしている。	5分
まとめる	⑥振り返りの音読をする。	グループの交流を通して、気付いたことや新たに考えたことを発表させる。	8分
	⑦振り返りを書く。	これまでの学習を生かした朗読となるように助言する。  主題を基に本単元で身に付いたこと等を書くようにさせる。	2分

○月○日  
海の命  
めあて

ふり  
返り

あなたに伝えたかったこと

太一

海との共生  
支え合い  
命の価値

この物語があなたに伝えたかったことをまとめ、交流しよう

おとう 与吉じいさ 母

・太一のように○○に△△を教えても  
らって成長することができた。  
・卒業式では○○への感謝の気持ちを  
込めて臨みたい。  
・お世話になった方々に感謝したい。